

## 秋田県におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の現状と 今後のあり方

小國 卓也

文部科学省は、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を謳っている。では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動（地域学校協働本部）とは一体どのようなものなのだろうか。本研究では、それらの概要を整理するとともに、全国の公立学校における導入・整備状況を明らかにする。また、それらによって期待される効果や、現状の成果や課題も明らかにする。これらを踏まえ、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の今後の在り方と、秋田県における展望について考察する。

第1章では、コミュニティ・スクールの概要と全国の公立学校における導入状況を整理した。第2章では、地域学校協働活動（地域学校協働本部）の概要と整備状況を整理した。第3章では、秋田県の小学校と中学校に聞き取り調査を実施し、秋田県におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の現状の成果や課題を明らかにした。第4章では、第3章で実施した聞き取り調査の結果を踏まえ、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の今後の在り方と秋田県における展望を考察した。具体的には、教員の業務見直し・削減を図り学校運営協議会への教員の参画を促すこと、地域学校協働活動の担当教員における負担の軽減を図る地域学校協働活動推進員等の配置拡大、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図る人的配置の工夫の3点を提案した。